

平成 27 年度介護等体験談
特別支援学校<豊中支援学校>

私は、特別支援教育について、とても関心があります。それが故、小学校の特別支援学級に週に 1 度ボランティアに行かせていただいています。そこでは知的、情緒に発達障害がある子どもがいます。今回の豊中支援学校でも、知的障害の子どもが多いと知り、特徴は何となく分かっていました。しかしながら、実際に赴いてみると、各々個性があり、理解することだけで精一杯でした。やはり 2 日間という短い期間で支援するということは少し難しいように感じました。特に学習の面ではそれぞれ課題が違っていたため、少し戸惑ってしまい、上手く支援することが出来ませんでした。子どもに少し辛い思いをさせたかな、と感じました。支援の子に対しての学習の支援の仕方をこれから考えていこうと思います。子ども達と関わっていく中で、たくさんの会話をしたり、笑顔を見たり、いきいきと遊んでいる姿を見たりして、本当に幸せでした。やはり子どもは可愛いなと感じました。しかしながらこの子達はこれから、たくさんの壁にぶつかるのだなと思うと少しやるせない気持ちになります。その壁をできるだけ 1 人でのり越えられるように、教材や支援の工夫が必要だと思いました。今回の支援学校の体験を通して、子どもとたくさん関わることの大切さを改めて感じました。また学級の掲示物や教材の工夫、話し方聞き方、指導の仕方など、たくさんの技術を見ることが出来ました。自分が目指している小学校の教師になればクラスに数名、支援を要する子どもがいるとされています。その時の授業や学級づくりにこの経験を活かしたいと思いました。